

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成26年5月1日(2014.5.1)

【公開番号】特開2014-41378(P2014-41378A)  
 【公開日】平成26年3月6日(2014.3.6)  
 【年通号数】公開・登録公報2014-012  
 【出願番号】特願2013-210684(P2013-210684)  
 【国際特許分類】

G 0 3 B 17/02 (2006.01)

H 0 1 H 19/02 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 17/02

H 0 1 H 19/02 B

H 0 4 N 5/225 F

【手続補正書】

【提出日】平成26年3月3日(2014.3.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

回転スイッチと、前記回転スイッチの回転規制の有る規制状態と前記回転スイッチの回転規制の無い非規制状態の二つの状態を、前記回転スイッチのそれぞれの状態に割り当てられる機能以外の機能とは無関係に切り替え可能な切替手段と、前記切替手段によって前記規制状態とされた場合に前記回転スイッチの回転を規制する規制部材と、を有し、

前記規制状態には、シャッタースピードまたは絞りといった出力値が離散的な機能の少なくともいずれかが割り当てられ、かつ、前記非規制状態には、フォーカスまたはレンズのズーム倍率といった出力値が連続的な機能の少なくともいずれかが割り当てられ、さらに、

前記回転スイッチの回転操作により、前記切替手段によって選択された状態に割り当てられた機能に対応した制御が行なわれることを特徴とするデジタルカメラ。

【請求項 2】

前記切替手段によって規制状態と非規制状態が切り替えられた際に、切り替え前の元の状態が保持されることを特徴とする請求項 1 に記載のデジタルカメラ。

【請求項 3】

前記切替手段により前記規制部材は電氣的に制御されることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のデジタルカメラ。

【請求項 4】

前記回転スイッチはレンズ鏡筒の周囲に設けられた回転リング形状であることを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載のデジタルカメラ。

【請求項 4】

前記切替手段は、操作設定画面から切り替え可能なことを特徴とする請求項 3 に記載のデジタルカメラ。

【請求項 5】

前記切替手段は、前記回転スイッチを筐体側に押し込む、あるいは、引き出す動作によ

って切り替えることを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 項に記載のデジタルカメラ。

【請求項 6】

前記切替手段は、前記回転スイッチの周囲に設けられたタッチセンサーであることを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 項に記載のデジタルカメラ。

【請求項 7】

前記デジタルカメラの動作状態に応じて、前記規制手段による規制の有無を制御することを特徴とする請求項 1 ないし 6 のいずれか一項に記載のデジタルカメラ。

【請求項 8】

回転スイッチと、前記回転スイッチの回転規制の有る規制状態と前記回転スイッチの回転規制の無い非規制状態の二つの状態を相互に、前記回転スイッチに割り当てられる機能以外の機能とは無関係に切り替え可能な切替手段と、前記切替手段によって前記規制状態とされた場合に前記回転スイッチの回転を規制する規制部材とを有し、前記規制状態では、シャッタースピードまたは絞りといった出力値が離散的な機能の少なくともいずれかが前記回転スイッチの操作に対応した機能として割り当てられていることを特徴とするデジタルカメラ。

【請求項 9】

回転スイッチと、少なくとも前記回転スイッチに割り当てられる同一動作モードの二つの機能以外の機能と無関係に切り替え可能で、前記回転スイッチの操作にクリック感の有る規制状態と前記回転スイッチの操作にクリック感の無い非規制状態を切り替える切替手段と、を有し、

前記規制状態には出力値が離散的な機能が割り当てられ、かつ、前記非規制状態には出力値が前記離散的な機能と前記同一の動作モードの連続的な機能が割り当てられ、さらに、

前記回転スイッチの操作により、前記切替手段によって選択された状態に割り当てられた機能に対応した制御されることを特徴とする電子機器。